

渡辺治建築都市設計事務所  
OSAMU WATANABE ARCHITECTS





建築家/まちづくり実践家

## 渡辺 治

1959年生  
 1985年 北海道大学修士課程修了  
 1986年 ペンシルバニア大学修士課程修了  
 1991年 東京大学博士課程(高橋鷹志研究室)修了  
 1992年 渡辺治建築都市設計事務所設立  
 1996年 シビル設計コンサルタント設立  
 2005年 川崎ファクトリー主催

千葉工大非常勤講師、日大非常勤講師、NPO環境持続研究会理事、マンチェスター大学ポストグラデュエイトコースの事務局などを経る。代表作に、「多摩川幼稚園」「明愛幼稚園」「至誠保育園」「万願寺保育園」などの保育施設「清水駿府病院」「藤枝駿府病院」「白扇閣」「フォレスト」などの病院・福祉施設。

2003年から作り続けている住宅地「ジョンソントウン」は観光地化している。

1996年に「モエレ沼公園」のイサム・ノグチの部屋の企画・デザイン。  
 2005年から廃校になった旧県立川崎南高校の保存・まちづくり運動。

1993年 「住宅地のライフレボリューション」ダウ化工主催 一等入選  
 1986年 「ハワイオワフカレッジ」設計コンペ 一等入選  
 1996年 第11回「多摩川幼稚園」日本建築士会連合会奨励賞  
 2000年 大地に還る住宅 優秀賞  
 2001年 エフィリ住宅コンペ 特別優秀賞  
 2002年 日本商環境設計家協会JCDデザイン賞「PLAY WALL」  
 「万願寺保育園」入選  
 2004年 アイカ「リフォームコンテスト」白菊幼稚園が水回り優秀賞  
 2007年 第2回多摩のまちなみ建築デザイン賞「至誠保育園」藤森照信賞(審査員特別賞)

1996年 イサム・ノグチ+ルイスカーン展(札幌)ワタリウム美術館の巡回展  
 2001年 「人間動物園」ワタリウム美術館  
 2002年 「Primitive Landscape」を駿河意匠と協働で東京デザイナーズブロックに出展  
 2004年 「川崎ミステリーツアー」ワタリウム美術館依頼  
 2005年 アートカフェ「Ca-Fe Auman」に市民文化パートナーシップ  
 かわさき2004年懸賞事業受賞  
 2006年 「小家庭」をかわさき現代彫刻展2006に出展  
 2004~2006年 かわさき現代彫刻展の事務局  
 2007~2009年 アートセッションかわさきの事務局

### 故太田実教授との協働作業

静岡での一連の病院や福祉施設  
 の設計に関わることになったの  
 は、故太田実教授の奥様の兄弟が  
 運営する精神病院の計画を教授の  
 息子さんから相談を受けたのが  
 きっかけだった。その後、娘さん  
 が事務所を訪れ、ガンの手術をし  
 たばかりの太田教授の元氣を取り  
 戻すためにも、いっしょに設計を  
 やって欲しいと言われた。

恩師との共同作業は本当に充実  
 したものだ。食事を取ると、  
 苦しくなって倒れてしまうので、  
 事務所に簡易ベッドを置いて図  
 面に向かった。横になっても、し  
 ばらくして、這い上がるようにし

て起き出し、ざんばら髪で図面を  
 ならむ姿は、武士そのものだった。

教授とは、東京中の建物を一緒に  
 見て歩きながら、こころゆくまで  
 建築の話をして夢のような時間  
 を過ごさせていただいた。

清水駿府病院が竣工し、白扇閣  
 2の設計の方針を決めた後は、す  
 べて任せられるようになった。藤枝  
 駿府病院の屋上には教授と共に立  
 つことができたが、白扇閣3と  
 フォレストを見る前に、帰らぬ人  
 となってしまった。

### 特別養護老人ホーム

大学院の時に、当時、東京都老  
 人総合研究所リハビリテーション

医学部障害研究室室長だった林玉  
 子教授の研究を手伝い、特別養護  
 老人ホームに泊りながら、入居者  
 にアンケートを取った。その頃の  
 老人ホームは「姥捨て山」と呼ば  
 れたように、まさにへき地に位置  
 し、何年も家族が来ていないケー  
 スが多かった。アンケートを取る  
 ために会話するだけで、嬉しくて  
 泣き出す人もいた。

最後に、「死のうと思ったこと  
 はありますか。」と残酷な質問を  
 しなければならなかったが、その  
 時は、誰もが泣き崩れた。スタッ  
 フは少なく、裸にして大きなシン  
 クで体を洗うという信じられない  
 光景もあった。

林玉子教授は、徘徊させること  
 を妨げないという計画を推奨して  
 おり、徘徊路を平面計画画確保す  
 ることが老人ホームで要求される  
 ようになっていく。

その後、東京大学の故外山  
 教授を通じて、京都大学の故外山  
 義<sup>ただし</sup>教授に会うようになった。教  
 授は、スウェーデンで博士論文を  
 書いており、「自分がそこで死に  
 たい空間」をつくるべきだと主張  
 し、個室とユニット型を提唱され  
 ていた。

その時に設計したのが、白扇閣  
 2だった。これは形態が決まっ  
 いたので、線状の徘徊型のプラン  
 ができず、必然的にユニット型の



白扇閣2号館

プランとなった。しかし、当時はまだ徘徊型のプランが全盛であったので、市長と県知事を説得し、厚労省まで行って、ユニット型のプランで補助金を取り付けた。

「福祉」とは辞書では「幸せ」と言う意なのだが、日本における福祉施設は、とうてい「幸せ施設」とはなっていないと思っていた。

デンマークでは、高齢者住宅と在宅介護を押し進めてきた過程で、特別養護老人ホームを全廃してきた。今、日本の高齢者施設は、デンマークの40年前とまったく同じ状況にある。

施設をつくり、そこで手厚い介護。施設の建設費と介護費用は膨れ上がる一方で、財政は少子化によりひっばくしてきている。

デンマークでは、個室を広くし、自炊できるキッチンやシャワー、トイレの設置を義務づけ、自活を促すと同時に在宅介護サービスを充実させることにより、元気な高齢者であり続けること、つまり「生き甲斐づくり」を支援し、生涯に病院のベッドに世話になる期間を4・5日まで縮めることに成功した。

白扇閣は、広いテラスがモチーフになっており、自分の意志で歩き出して外の空気にあたり、または植物に触れることができるよう

になっている。毎日外に出る生活が通常の生活だとすれば、それが実現できるような施設にしたいと思っ

て設計した。「福祉」とは何か？ と聞かれたら、「人の幸せな死に方」ではないのかと今ならば答えるだろうと思う。

#### まず調査、精神障害者の入院施設

建て替え前の精神病院は、高いコンクリートブロックの塀で囲われ、鉄格子がついた建物で、中にはいると、大広間に何十人の患者が雑魚寝のようにして押し詰められていた。また、夜は睡眠薬などを常用していたため、オネシヨをするので異様な臭いが立ちこめていた。動き回る看護婦は、腰からジャラジャラと鍵を下げており、病棟を出入りする度に、ガチャガチャと鍵を開け閉めしていた。

長い居住者は30年以上も入院しており、格子越しに空を眺める姿が頭にこびりついた。設計にあたって、鍵を使わない

施設システムの開発、空調機械に組み込む脱臭装置の開発、格子を必要としない開口部の開発にすぐに取りかかった。それぞれに、メーカや学者に協力していただき、2年後には、鍵にバッテリーを必要

としないノンタッチキー、酸素クラスターによるダクトを腐食させない脱臭装置、8ミリ強化ガラスを使用した窓などの解決策に着手した。キーシステムはその後、商品化されている。

藤枝駿府病院では、自分の意志で外部に歩き出すことができる階段状のテラスを確保し、患者は引越すなり、テラスに出て飽きることなく、穴があくほど空を凝視している姿を見て、むくわれた思いがした。

新しい設備の在り方も模索された。精神病院は、建て替えに際して補助金をいただくためには、ベッド数、つまり収入源を減らし、かつ規模がそれまでの3倍になってしまいうので、光熱費は、面積比だと3分の1に抑えねばならなかった。

自然光の確保、地下水の利用、バルクシステムによるガス空調などにより、省エネ、省経費をはかり、最終的に3分の1の目標を達した。

#### 精神障害者の復帰施設

精神障害者の復帰施設は、コンクリート造で、薄暗い中廊下に個室の鉄扉という構成が多く、地域に対して完全に閉ざっていた。

しかし、病院の院長と共に、千葉の浅井病院を見学に行った際に

見たのは、一軒家やアパートなどを借り切って精神障害者の復帰施設としており、年に2回おこなわれるお祭りは、近隣の人たちが来て賑わう、数千人規模のものであった。

入居者は少しでも周辺に寄与して受け入れていただくとうと、毎日路上を清掃していたが、ある時まで、近隣に居住する特に若い女性などは、そのような精神障害者が住むアパートなどは、夜は恐くて迂回して通っていた。

しかし、ある時、精神障害者が清掃中に体調をくずして倒れ、近所の居住者が助けてからは、「人に危害を加える人たち」から、「守ってあげるべき弱い人たち」に意識が変わったのだという。

「ここみ+はーとばる(精神障害者復帰施設+地域交流室)」では、木造とし、片廊下とし、各個室は窓と入り口を設け、まちなみをつくる試みをおこなっており、大きな「えんがわ」と呼ばれるテラスをつくった。居住者は、外出時でも換気のために、扉を開け放ち、テラスでは千人を越える近隣の居住者が来る夏祭りがおこなわれるようになった。



# 白扇閣2号館

既存棟は、故太田実先生の代表作の一つで、まだ先生がご存命時の共同設計。

シヨートステイは、京都大学の外山教授が推奨するユニット型を用いた多分日本で初めての事例。1階はデイサービス、3階は山と空に透ける地域交流室。





## 白扇閣3号館

起き出して、出たくなる外部空間。そして上下階の人たちがそこ

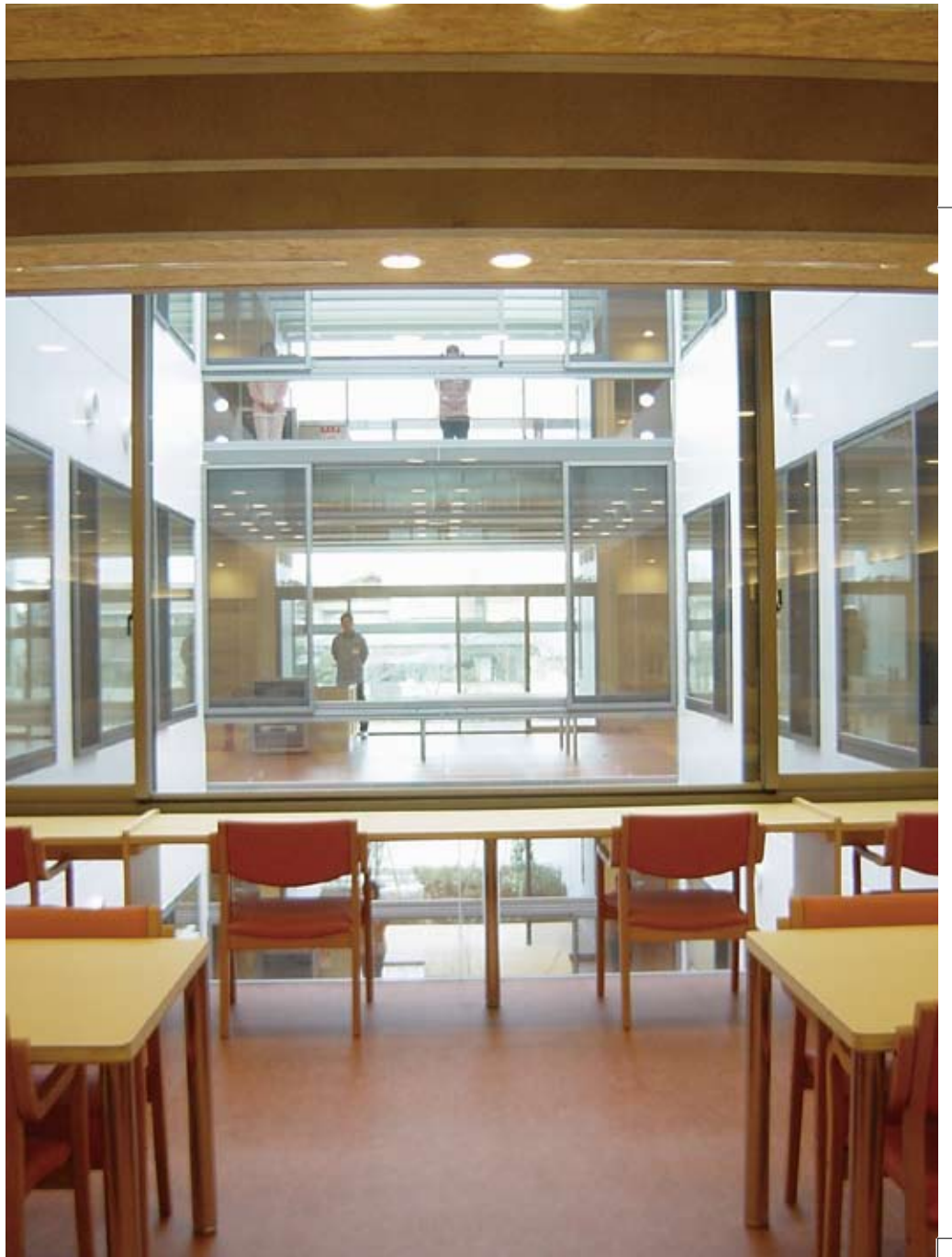
で出会うようにと期待してつくった空間。実際に、天気の良い日には車椅子で外に出るようになったという。

通常、特別養護老人ホームは、寝たきりが多いのだ。

## 藤枝駿府病院

精神病患者は通常入院してしま  
うと、外部に出られない生活を強  
いられる。自分の意志で外部に歩  
き出せる空間ができないかと工夫  
した。コアが固定されており周辺  
がずれて階段状のテラスを生み出  
すと同時に、内部には階段状の大  
きな吹き抜けが発生し、吹き抜け  
の両側で部屋が向き合う。





## フォレストタ藤枝

互いに10m<sup>2</sup>離れた居室棟。その間にPCコンクリートの床版を渡す。渡さない場所は中庭となる。そうすることによって、みんなが集い活動する空間は、後ろの桜並木が植えられている川の土手の風景に透ける。



# 清水駿府病院

鉄格子がなく、まちに対して高い  
囲いもなく、1階は誰もが入り  
やすく、かつオープンスペースを  
まちに供給し、まちに開いている  
精神病院を目指した。





悩む人を暖かく受け入れる空間  
がそこにあることが分かるような  
建物をつくれなにか、と相談され、  
夜でも温かな光を発するあんどん  
のような建物とした。

## くさなぎ メンタルクリニック



## はーとばる。 ここみ

見学に行った障害者の復帰施設は、中廊下の両側が鉄扉で、コンクリート造、周辺にも互いにもまったく閉鎖された冷たい建物であったが、この建物は廊下を街路にみたてて窓があり、まちに対してはおおきな「えんがわ」でつながり、年に1度、大規模なまちのお祭り会場となる。



## 城ヶ平ビル (耳鼻科、小児科)

施主の今は亡き父親がまちに貢献するような建物として欲しいとする意志を受け、建物の中を公共の空間が貫いている。上の高層住宅からバス停に抜ける近道をつくるとともに、外部の人が自由に使えるエレベータを設置した。





## 建築概要 (掲載順)

### 白扇閣2号館

用途：特別養護老人ホーム  
所在地：静岡県  
建築主：社会福祉法人 清承会  
設計・監理：太田・渡辺設計JV  
構造・規模：RC造・地上3F  
敷地面積：4,533.66㎡  
建築面積：1,043.29㎡  
延床面積：2,040.33㎡  
竣工：1998年  
施工：鈴木建設

### フォレストタ藤枝

用途：介護老人保健施設  
所在地：静岡県  
建築主：医療法人社団 凜和会  
設計・監理：渡辺治建築都市設計事務所  
構造・規模：RC造一部S造・地上4F  
敷地面積：2,647.37㎡  
建築面積：1,461.65㎡  
延床面積：3,674.57㎡  
竣工：2003年  
施工：平井工業

### はーとぼる・ここみ

用途：精神障害者福祉ホーム、  
精神障害者地域生活支援センター  
所在地：静岡県  
建築主：医療法人社団 宗美会  
設計・監理：渡辺治建築都市設計事務所  
構造・規模：W造・地上3F  
敷地面積：1,177.71㎡  
建築面積：537.07㎡  
延床面積：699.93㎡  
竣工：2002年  
施工：大成建設

### 白扇閣3号館

用途：特別養護老人ホーム  
所在地：静岡県  
建築主：社会福祉法人 清承会  
設計・監理：太田・渡辺設計JV  
構造・規模：RC造一部S造・地下1F 地上4F  
敷地面積：5,093.12㎡  
建築面積：798.21㎡  
延床面積：1,976.09㎡  
竣工：2002年  
施工：鈴木建設

### 清水駿府病院

用途：病院  
所在地：静岡県  
建築主：医療法人社団 宗美会  
設計・監理：太田・渡辺設計JV  
構造・規模：RC造・地上5F PH階  
敷地面積：4,047.59㎡  
建築面積：2,267.78㎡  
延床面積：7,652.11㎡  
竣工：1999年  
施工：大成建設・鈴木建設JV

### 城ヶ平ビル

用途：病院  
所在地：鹿児島県  
建築主：森山一郎  
設計・監理：渡辺治建築都市設計事務所  
構造・規模：RC造・地上3F  
敷地面積：879.38㎡  
建築面積：304.5㎡  
延床面積：684.49㎡  
竣工：1996年  
施工：新川組

### 藤枝駿府病院

用途：病院  
所在地：静岡県  
建築主：医療法人社団 凜和会  
設計・監理：渡辺治建築都市設計事務所  
構造・規模：RC造・地上4F、PH階  
敷地面積：5,995.16㎡  
建築面積：2,366.68㎡  
延床面積：6,886.92㎡  
竣工：2000年  
施工：平井工業

### くさなぎメンタルクリニック

用途：病院  
所在地：静岡県  
建築主：医療法人社団 宗美会  
設計・監理：渡辺治建築都市設計事務所  
構造・規模：S造・地上2F  
敷地面積：189.37㎡  
建築面積：114.73㎡  
延床面積：226.27㎡  
竣工：2009年  
施工：鈴木建設

## 渡辺治建築都市設計事務所

〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通4-14-18  
TEL. 044-344-3640 FAX. 044-344-3936  
URL <http://www.owat.net/>